

令和5年度



園だより



文京区立根津幼稚園

地域での経験を自分たちの遊びに

園長 小島 喜代美

さわやかな秋風が吹き始め、子どもたちは伸び伸びと体を動かして遊ぶ姿が見られます。

9月16日(土)、17日(日)は、根津神社のお祭りがあり、新型コロナウイルス感染症が5類となり、4年ぶりに盛大に開催されました。15日(金)から、子ども神輿が街に繰り出し、預かり保育の子どもたち数名と一緒に見に行くと、参加する根津幼稚園の子どもたちと見守る保護者の皆様。「わっしょい、わっしょい」の掛け声に熱気が伝わってきました。

そして連休明けには、早速、子どもたちがお祭りを思い出し、5歳児ほし組で屋台作りが始まりました。実際に目にして味わった品物であるため、日頃使い慣れている素材を使い、よく工夫していました。焼きそばは毛糸やカラー画用紙を使って、ヘラは段ボールを切ってガムテープを巻いて作り、手さばきも本当の屋台の人ようです。綿飴は画用紙で丸い囲みを作り、トイレットペーパーを中に入れて割りばしに巻き付けていきます。その手の動きは、本当に綿飴を作っているようです。売り場の飾り方にもこだわり、「紐みたいなのがあって、そこに綿飴があった」との言葉。子どもたちの観察力の鋭さは凄い。ほし組の屋台ができると、4歳児はな組をお客さんに呼んで、売り買いをする姿が見られました。屋台のそばには食べる場所も作り、本当にお祭りに来ている気分になりました。

ほし組に憧れを感じているはな組も、自分たちで屋台作りを始めました。自分が食べた物を思い出しながら作って並べていきました。焼きそばとたこ焼きを売っている屋台に行くと、パックに入れてくれました。「あれ、お箸がないんですが」と言うと、くるくる棒(紙を巻いた棒)を持ってきて箸に変身。遊びや生活の中での学びですね。豊かな体験を通して遊びが充実し、園内のあちらこちらで展開されています。

さて、10月7日(土)は運動会を開催します。生き生きとした子どもたちの姿に大きな声援をお願いいたします。皆様、お待ちしております。



不忍通りは華やかな根津音頭の踊り手さん、神輿や山車で熱気一杯



根津神社の境内には屋台や七ヶ町の神輿が勢揃い



5歳児ほし組は神輿を作って「わっしょい」



ほし組の屋台は、焼きそば、チョコバナナ、かき氷、綿飴、リンゴ飴など、本物みたい。買い物に行ってお店の前で食べる4歳児はな組



4歳児はな組も屋台を作って3歳児りす組がお客さん

